

【建築現場を会社のショールームへ】ヤマタグループ CS 研修を実施 関係職方約 200 名と連携し、業界の安全性とイメージ向上へ

ヤマタグループ・株式会社ヤマタホーム（本社：鳥取市千代水、代表：山田時好）は、7月5日、鳥取県立倉吉未来中心で「お客様満足度向上研修」（以下：CS 研修）を実施します。



* 昨年開催した CS 研修の様子

CS 研修の概要

- 目的：「建築現場は会社のショールーム！」をコンセプトとし、お客様満足度の向上を目指す
- 日時：7月5日（金）13:30～17:00（13:00～受付開始）
- 対象者：ヤマタグループの工事にかかわる協力会社・職方
- 場所：鳥取県立倉吉未来中心大ホール（〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺 212 - 5）
- 研修内容：現場でのお客様対応・マナーの実演指導/現場の環境整備に関する講習/危険予知の講習



* 昨年開催した CS 研修：マナー講習



* 昨年開催した CS 研修：現場写真を使った講習

建築現場の環境整備および、お施主様、見学者、近隣の方々への対応・マナーなどを身に着け、皆様に満足していただけることを目指します。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 広報担当 鈴鹿 TEL : 0857-30-0006 MAIL : info@yamatagr.com

現場を会社のショールームへ変える理由

「現場を会社のショールームへ」というコンセプトには、建築現場を清潔で安全な場所にすることで事故やトラブルを減らし、業界の課題改善・イメージの向上につなげていく意図があります。

建築現場には“危険”“汚い”などのネガティブなイメージがあるといわれ、業界全体の課題のひとつです。令和4年度の全産業の死亡事故（774件）のうち、281件（約28%）を建設業が占めています。実際に建築現場では、作業中の騒音や工事車両等の関係で近隣住民に迷惑をかける場面も少なくありません。

さらに、現在の住宅業界における新設現場の着工棟数は減少の一途をたどっており、平成12年度の1,229,843戸から令和5年度は819,623戸まで減少しています。

このような状況の中、業界や建築現場のイメージ（実態）を改善するためには、安全で清潔な現場環境の推進、お客様や近隣住民に対する正しい対応やマナーを身に着けることが欠かせません。

当研修を通して、正しいお客様対応やマナーを身に着け、誰もが安心して見られる“ショールームのような建築現場”づくりを推進してまいります。

また「建築現場を会社のショールームへ」というコンセプトのもと現場環境の改善を進めることで、現場トラブルの減少に寄与し、業界全体のイメージ向上を目指します。

【参考】

[厚生労働省「令和4年度労働災害発生状況の分析等」](#)

[国土交通省「建築着工 統計調査報告」令和5年計](#)

お問い合わせ先

ヤマタホールディングス株式会社

〒680-0911 鳥取県鳥取市千代水2丁目130番地

TEL:0857-30-0006

FAX : 0857-30-5227

Mail: info@yamatagr.com

コーポレートコミュニケーション戦略ユニット 鈴鹿



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 広報担当 鈴鹿 TEL : 0857-30-0006 MAIL : info@yamatagr.com